

設立趣旨

茨城県阿見町は大正時代に、霞ヶ浦海軍航空隊が開隊されて以来、昭和14年には飛行予科練習部いわゆる「予科練」が、神奈川県横須賀からここ阿見町に移転し、終戦まで全国の予科練教育・訓練の中心的な役割を担うこととなりました。

このように、海軍の町としての歴史を歩んできた阿見町は、わが国の近現代史の中でも特別な時代を過ごし、日本が経験してきた戦争と平和を考えるうえで、忘れることのできない多くの事柄をその風土と歴史の中に刻み込んでいます。

このような歴史的背景の中で、貴重な予科練の歴史や阿見町の戦史の記録を保存・展示するとともに、次の世代に正確に伝承し、命の尊さや平和の大切さを考えていただくために「予科練平和記念館」を建設しました。



「海軍飛行予科練習生」及びその制度の略称で、第一次世界大戦以降、航空機の需要が世界的に高まり、欧米列強に遅れまいとした旧海軍が、より若いうちから基礎訓練を行って熟練の搭乗員を多く育てようと、昭和5年に教育を開始しました。14才半から17才までの少年を全国から試験で選抜し、搭乗員としての基礎訓練をするもので、飛行予科練習生制度が始まってから、終戦までの15年間で約24万人が入隊し、うち約2万4千人が飛行練習生課程を経て戦地へ赴きました。なかには特別攻撃隊として出撃したのもも多く、戦死者は8割の約1万9千人にのぼりました。

「予科練」とは

隣接施設のご案内



ゆうしょうえん
雄翔園

雄翔園は、予科練の戦没者約1万9千人の霊壟簿をおさめた「予科練の碑（予科練二人像）」を正面に配した庭園です。



ゆうしょうかん
雄翔館

雄翔館は、予科練戦没者の遺書・遺品約1700点を収蔵、展示しています。予科練出身者、遺族などで構成される公益財団法人海原会が管理しており、1968（昭和43）年に開館しました。

利用案内

- 開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始
- 観覧料：大人500円（団体400円）小中高生300円（団体240円）
- 交通

自家用車を利用

- ・常磐自動車道 桜土浦ICから国道125号バイパスを利用約15分
- ・首都圏中央連絡自動車道（圏央道）阿見東ICから約15分

JR常磐線を利用（土浦駅西口からバス）

- ・JRバス「江戸崎方面」行き「阿見坂下」停留所下車 徒歩3分
- ・関東鉄道バス「阿見中央公民館」行き「阿見坂下」停留所下車 徒歩3分



予科練平和記念館

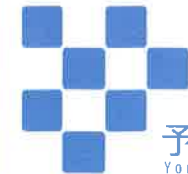
YOKAREN PEACE MEMORIAL MUSEUM

〒300-0302 茨城県稲敷郡阿見町大字廻戸5番地1
tel 029-891-3344 fax 029-888-2470
e-mail yokaren-ofc@town.ami.lg.jp
URL <http://www.yokaren-heiwa.jp/>

Teenage boys in the Showa period
who volunteered for Yokaren

To increase awareness of the importance of life
and world peace through their lives

予科練に志願した
昭和の少年たち
今と変わらぬ少年たちの青春群像を通して
命の尊さと平和への認識を深める



予科練平和記念館
YOKAREN PEACE MEMORIAL MUSEUM